

下呂市 〔概要版〕 第二次総合計画

平成27年度 → 平成36年度
2015 → 2024

今ある宝物を次世代に伝え
ふるさとに誇りと愛着を持って
暮らし続けていくには
どうしたらよいのでしょうか？

そのためには、みんなで力を合わせ
時代の変化や荒波を乗り越え
進んでいかなければなりません

総合計画とは？

**みんなでふるさと下呂市を
磨いていくための「羅針盤」です。**

この計画の3つの特徴

- （１）市政運営の「拠りどころ」となる計画**
市の施策や事業の根拠となる最上位の行政計画です。
- （２）みんなで考え、みんなで行動するための計画**
市民・議会・行政が手を取り、ともに汗を流していくための共通の指針です。
- （３）目指す姿を掲げ、達成度を評価できる計画**
目標の達成度や効果を「見える化」し、市民とともに点検する計画です

下呂市

1 目指すまちの姿

市の将来像

もっと住みたい 訪れたい みんなのふるさと わくわく下呂市

わたしたちの下呂市は
森と清流、温泉をはじめ豊かな自然
先人たちが築いてきた文化や暮らし
人と人との温かいつながりなど
宝物がいっぱい

合併から 10年という節目を迎えた今
あらためて、わがまちを見つめ直し
その個性や魅力を磨きあげ
「結んでひとつ」の下呂市に

「地域のことは地域で、
自分たちのことは自分たちで」
を合言葉に
わたしたち市民一人ひとりが
ふるさとのためにできることを
考え、行動していくことで

もっと住みたい、訪れたい
わくわくするような
「みんなのふるさと」へ

2 基本理念

住民の参画と協働による 『ふるさと磨き』

基本理念は「第一次総合計画」と同じ「**住民の参画と協働によるまちづくり**」を引き継ぎます。

また、ないものを新たに
つくりあげるのではなく、
これまでにつちかってきた
下呂市固有の「地域資源」
を活かし、磨きあげることで
市内外を問わず、誰にと
っても誇りと愛着の持てる
「ふるさと」となるよう、
今も未来も元気な下呂市を
目指します。



もっと住みたい 訪れたい みんなのふるさと わくわく下呂市

基本
理念

住民の参画と協働による『ふるさと磨き』



下呂市市民憲章

わたしたち下呂市民は、郷土に誇りをもち、
美しい自然の中で豊かな心を育み、ともに住み
よいまちをめざします。

- 一、森と清流と温泉を宝とし 次の世代へつなげよう
- 一、ふるさととの文化と伝統を受け継ぎ 守り育てよう
- 一、おもてなしの心で 温かなふれあいを広げよう
- 一、安心して暮らせるよう たがいに助け合おう
- 一、すこやかな心と体で 明るい未来を築こう

4

重点プロジェクト

今後 10年をリードする「分野横断的な施策」として、下呂市が一丸となって取り組むべき3つの「重点プロジェクト」を設定しました。

重点プロジェクト

1

重点プロジェクト① ひとが減る？！

人口減少対策プロジェクト



重点プロジェクト

2

重点プロジェクト② おカネが減る？！

行財政改革推進プロジェクト



重点プロジェクト

3

重点プロジェクト③ で…どうする？！

地域づくりのしくみプロジェクト

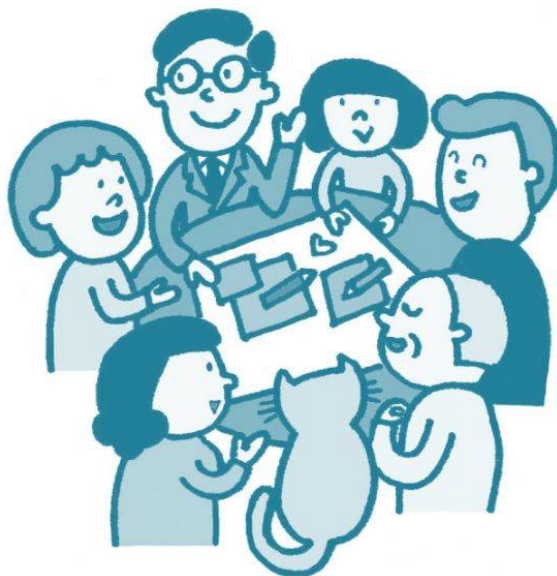


すべて「参画と協働」で取り組みます。

まずは、ワークショップやプロジェクトチームの立ち上げから！

この3テーマについては、すべて「市民参画と協働」で取り組みます。

今後、市民・民間・行政等の立場を越えたテーブル（ワークショップやプロジェクトチームなど）を立ち上げます。そこで、互いに知恵を出し合い、下呂市独自の具体的な取り組みを見出したうえで、みんなで汗を流しながら協働で実践していきます。

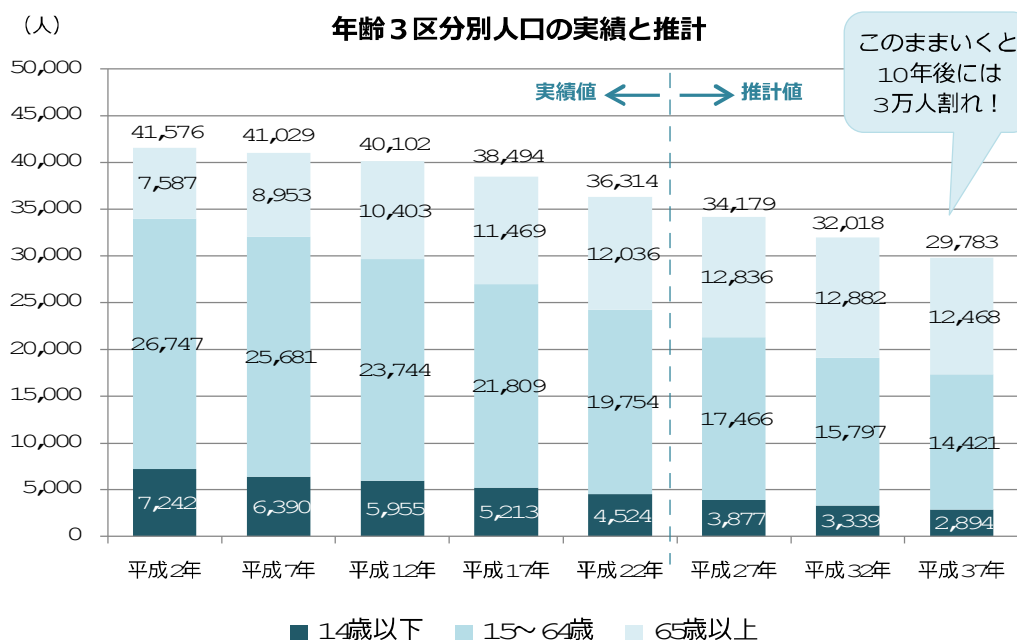




下呂市が直面している最も大きな課題のひとつは、「人口減少」です。

すでに合併後平成 22 年までに約 3,500 人が減少しており、さらに人口推計によると、今後も毎年減少し続け、10 年後の計画終了時（平成 37 年度）には、3 万人を割り込むことが推測されています。

働き盛りの世代が減ることで、経済活動も縮小し、市の活力が著しく低下するおそれがあります。また、若い世代が減ることから、地域での助け合いが成り立たなくなり、社会保障費が大きく増えることも懸念されます。



※資料 実績値：国勢調査 推計値：国立社会保障・人口問題研究所（平成 25 年 3 月推計）

（１）出産・子育てをしっかりと応援します！

安心して子どもを産み育てられるよう、結婚・出産・子育てについて、経済的な援助も含め総合的に支援しながら、重点的な少子化対策に取り組みます。

（２）働く場を確保し、就業を促進します！

ここで暮らし続けることができるよう、市内企業の元気を支えながら安定した雇用を確保するとともに、企業情報の発信や高校・大学との連携を強化します。

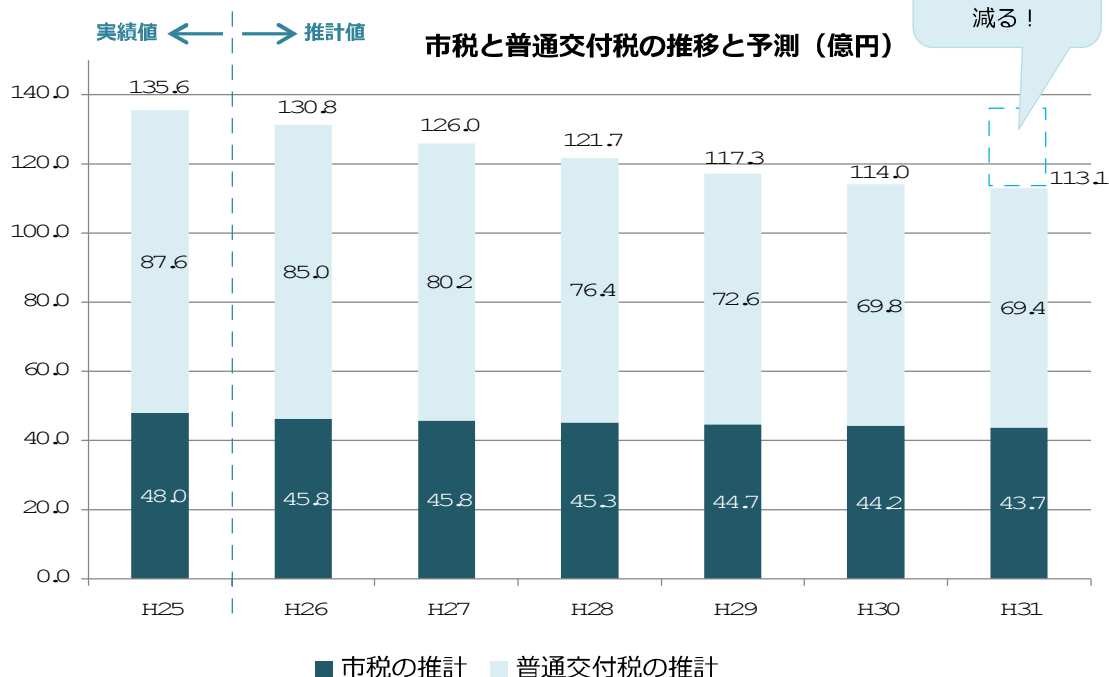
（３）まちの魅力を高め、移住・定住を促進します！

下呂市への移住定住を促進するため、郷土愛を育み、地域の魅力を発信するとともに、企業支援、新規定住に向けたプロジェクトや相談窓口の設置に取り組みます。

人口減少とともに直面している課題は、「財政問題」です。

合併特例による地方交付税増額分は、平成 26年度から段階的に減っていくとともに算定基礎となる人口が減ることで交付税の額も併せて減っていきます。

人口減少等による市税の減少も合わせると、平成 25年度と比較し平成 31 年度には約 23億円の減少となる見込みです。



（１）歳出を見直し、無駄な出費を抑えます！

事務事業を精査するとともに、現行補助金の見直し、公共施設の維持管理費の削減や統廃合など、歳出を抑制・削減し、効率的な財政運営を目指します。

（２）歳入を維持し、安定的な収入を確保します！

市内事業所の活性化を図り、ふるさと寄附金や企業広告による収入など、新たな財源の調査研究に努めます。また、使用料や手数料などの受益者負担を見直します。

（３）より横断的で効率的な行政組織を目指します！

縦割りを解消するため、関係部署の大胆な統合で横のつながりを持たせ、無駄のない実効性のある計画及びその実施に取り組みます。また、職員の意識改革を図ります。

（４）協働によるまちづくりを推進します！

住民、行政、その他多様な主体が地域課題の解決に向けお互いに連携・協力しながら、地域特性を活かした持続的な地域づくりに協働で取り組みます。

地域づくりのしくみプロジェクト

基本理念「住民の参画と協働による『ふるさと磨き』を進めるには、市民が市政に参画する機会を増やすとともに、身近な課題はできるだけ近いところで市民が主体的に考え、解決していくための持続可能なしくみが必要です。

本市には合併前の旧町村ごとの個性や魅力、受け継がれてきた助け合いの精神や集落単位の自治力などが、今もまだ残っています。

合併後 10 年を機に、各地域の個性を大切にしながら、できることは自分たちで取り組み、まちをもっと元気にしていける「地域づくりのしくみ」を構築します。

（１）地域づくり委員会（仮称）設置を目指します！

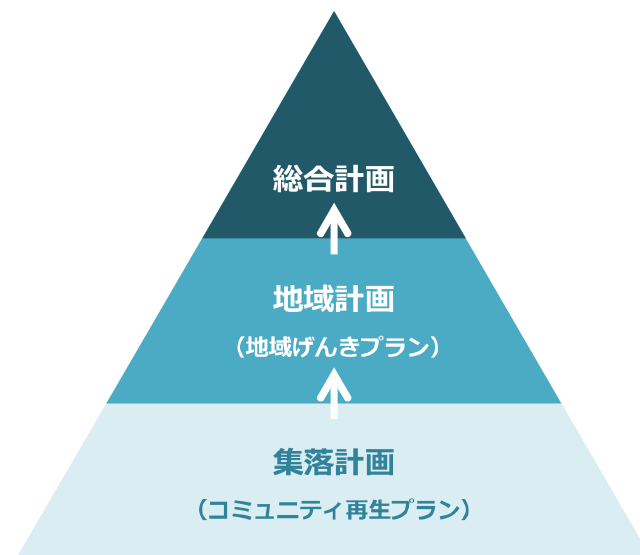
合併前の旧町村または小学校区単位ごとに地域づくりの拠点を設け、課題を共有し、計画的に解決に取り組む「地域づくり委員会（仮称）」の設置を目指します。

（２）身近なコミュニティ再生を支援します！

地域づくりの拠点や地域づくり委員会（仮称）の設置と併せて、身近な課題解決の担い手となる自治会や小学校区などの「地縁型コミュニティ」を応援します。そのため、地元職員の地域活動への積極的な参加を促進します。

（３）段階的な計画づくりや人材育成を支援します！

自治会や小学校区ごとにワークショップ等を開催し、「コミュニティ再生プラン（集落計画）」の策定を支援します。これらのプランをベースに「地域づくり委員会（仮称）」が「地域げんきプラン（地域計画）」を策定するのを支援し、後期基本計画や第三次総合計画の「地域計画」に位置づけます。また、これらボトムアップの計画づくりと実践を通し、地域づくりの担い手を育成します。

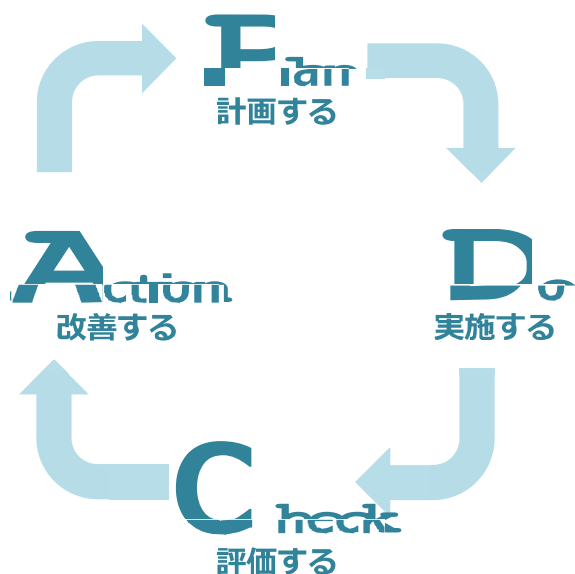


5

基本施策

「市の将来像」及びそれを実現するための7つの「まちづくり目標」と「分野」、39の「基本施策」を以下に掲げ、総合的かつ計画的に推進します。

施策ごとに目標値として成果指標を定め、達成度を点検しながら進捗管理を行います。



市民・議会・行政・民間企業・NPOなど下呂市に関わるさまざまな主体が、持ち味と得意分野を活かしながら、協働で公共課題の解決にあたるのが大切です。

情報共有

参画

協働

みんなが
同じ情報を
共有すること

市民が
まちづくりに
参画すること

市民・議会・行政
が協働で
取り組むこと

協働まちづくり

本編では、施策ごとに「協働で進めるうえで基本となる考え方」と「市民と行政が果たすべき役割(がんばること)」を掲げています。

市民の役割



行政の役割



★だれもが笑顔で元気に暮らせるまちを支えます

- **健康** 検診や相談など市民の健康づくりを応援します
- **医療** 市民・医療機関・行政が一体となって地域医療を守り育てます
- **地域福祉** 近隣たすけあいの仕組みを確立します
- **高齢者福祉** 見守り、配食、買い物等の生活支援サービスを地域と協働で支えます
- **障がい福祉** 障がいのある人と、ともに生活できる地域をつくります
- **児童福祉** ひとり親家庭の相談窓口を充実させます
- **子育て支援** 安全で安心な保育サービスが提供できる環境づくりを進めます
- **社会保障** 保健事業や介護予防事業等を推進し、堅実な制度運営を行います

健康・福祉
すこやか

1



基本施策	みんなでめざそう！成果指標	現状値	平成31年度	平成36年度
健康	健康な生活が送れていると感じる市民の割合（ア）※（ア）は市民アンケート（以下同じ）	57.8%	65%	75%
	タバコを習慣的に吸っている市民の割合（ア）	男性39% 女性 7%	男性30% 女性 5%	男性21% 女性 3%
	日常生活において1日1時間以上歩いている市民の割合（ア）	—	50%	70%
医療	身近にかかりつけ医がいる、病気になった時、市内の医院を受診すると回答した人の割合（ア）	83.7%	85%	87%
地域福祉	ゴミ出しや除雪など、地域の中で助けあう活動ができていると回答する市民の割合（ア）	—	80%	90%
高齢者福祉	認知症サポーター養成講座受講者数	1,334	2,200	3,000
障がい福祉	障がい福祉サービス利用者数（支給決定者）のうち、在宅サービス利用者数の割合	73%	75%	77%
児童福祉	D V、児童虐待や支援が必要な子どもに対する相談窓口等を知っていると回答した市民の割合	—	80%	90%
子育て支援	良好な保育サービスが提供されていると回答した市民の割合（ア）	—	80%	90%
社会保障	国民健康保険一人当たりの年間費用額	293千円	307千円	322千円
	後期高齢者医療保険一人当たりの年間費用額	790千円	908千円	1,026千円
	介護保険一人当たりの年間費用額	251千円	258千円	283千円

★生きる力や豊かな文化を育みます

- **学校教育** 学校・家庭・地域が一体となって、子どもを育てる体制を整えます
- **社会教育** 地域と連携した指導者育成や環境整備など市民の生涯学習を総合的に支援します
- **文化・芸術** 文化・芸術団体の活動を支え、伝統文化の保存伝承と活用を図ります
- **歴史・文化財** 地域の文化財保護の意識を高めるとともに、有効活用を図ります
- **スポーツ** 総合型地域スポーツクラブの活動を支援するとともに、誰もが気軽に参加・継続できるスポーツ環境を整えます

教育・文化
はぐくみ

2



基本施策	みんなでめざそう！成果指標	現状値	平成31年度	平成36年度
学校教育	「学校が楽しい」「授業の内容が分かりやすい」と回答する児童生徒の割合（ア）	90%	90%以上	90%以上
社会教育	日常何らかの生涯学習に取り組んでいる市民の割合（ア）	—	40%	60%
	生涯学習を通じて生きがいを感じている市民の割合（ア）	—	32%	48%
	身に着けた知識や技術を、地域や社会に生かすことができている市民の割合（ア）	—	16%	25%
文化・芸術	文化協会加入者数	1,479人	1,579人	1,600人
	文化祭の出演・出展数	展示521展 芸能40社中	展示550展 芸能40社中	展示570展 芸能40社中
	文化祭の入場者数	展示850人 芸能420人	展示880人 芸能450人	展示900人 芸能500人
歴史・文化財	埋蔵文化財包蔵地の詳細地図作成	60%の地区で 現地踏査実施	遺跡分布地図 編集及び製本	地図による案内 ができている
	下呂ふるさと歴史記念館の入館者数	14,445人	14,500人	15,000人
スポーツ	する・観る・大会運営等に関わり、みんなでスポーツを楽しんでいると感じる市民の割合（ア）	—	40%	50%
	週に1回以上スポーツを行う市民の割合（ア）	—	40%	50%
	体育施設の利用者数	344,049人	370,000人	390,000人

★災害等の危機に備え、地域の安全性を高めます

- **防災** 地区に2～3人程度の防災士育成を目指します。規模の小さい区等は他区との協働を推進します。また、観光関係団体等との連携を強化し災害に備えます
- **消防** 耐震性を備えた防火水槽等を適正な場所に配備します。また、女性消防団員の増員や災害支援団員の確保により、消防体制を強化します
- **救急・救命** 専門的な救命士の育成と充実を図ります。救急講習会（AED、応急手当等）を開催します
- **交通安全・防犯** 交通安全や防犯活動に取り組む団体を支援します。また、速度制限や車道と歩道の分離など交通安全対策を見直し、事件・事故の減少を目指します

安全安心
あんしん

3



基本施策	みんなでめざそう！成果指標	現状値	平成31年度	平成36年度
防災	機能する自主防災組織率	調査中	60%	70%
	災害に対する備えができていると感じる市民の割合（ア）	50%	60%	80%
消防	女性消防団員の人数	18人	30人	40人
	耐震性を備えた防火水槽の数	65基	71基	77基
	一般住宅（アパート含む）における、住宅用火災警報器の設置率	82%	90%	100%
救急・救命	応急手当の普及員養成	0人	30人	50人
交通安全・防犯	年間人身事故件数	65件	△5件以上	△15件以上
	年間刑法犯認知件数	146件	△10件以上	△26件以上

★市民や地域と協働でまちづくりに取り組みます

参画・協働
まちづくり

4

- **地域づくり** 持続可能な協働の仕組みとして地域づくり委員会（仮称）の設置に向け、職員を配置し支援を行います
- **交流・連携** 友好自治体との交流を通じて、交流人口の増加と地域活性化を図ります
- **平和・共生** 学校や地域での人権教育を推進します。地域・家庭・職場等での男女共同参画を推進します
- **情報共有** 広報げろ、下呂市ホームページのわかりやすさの向上と内容の充実を図ります
- **行政運営** 市の部課を統合し、横断的で迅速な対応ができる組織を目指します
- **財政運営** 長期的な見通しのもと、歳入に見合った計画的な予算編成を行います



基本施策	みんなでめざそう！成果指標	現状値	平成31年度	平成36年度
地域づくり	各地域における地域づくり委員会（仮称）設置状況	0%	100%	100%
交流・連携	地域間交流により、市が活性化していると感じる市民の割合（ア）	—	40%	70%
平和・共生	下呂市において、男女平等の社会づくりが進んでいると感じる市民の割合（ア）	14.1%	30%	50%
情報共有	「広報げろ」で、市の行政情報がわかりやすく伝えられていると感じる市民の割合（ア）	—	60%	70%
行政運営	市の職員の対応が明るく親切であると感じる市民の割合（ア）	—	60%	80%
	必要な行政サービスが確実に提供されていると感じる市民の割合（ア）	—	60%	80%
	NPO法人との協働事業数	25事業	40事業	60事業
財政運営	市債残高（特別会計含む）	498億円	462億円	462億円
	実質公債費比率	12.9%	15%	15%
	市税（現年課税分）の収納率	96.76%	98%	98%

★自然と寄り添い、持続可能な社会を目指します

環境共生
やすらぎ

5

- **自然環境** 外来生物を防除し、在来生物の保全を推進します。また、環境パトロール等による美化および公害防止や、小学生対象の環境学習等に取り組みます
- **環境衛生** ごみやし尿の処理施設の適正な管理及び受益者負担の適正化により、安全で安心な処理を継続します。早期実現が求められている新たな処理施設については、建設費・ランニングコストの両面において経済的かつ効率的な整備を目指します
- **循環型社会** 家庭ごみの分別収集区分や資源回収方法などを見直します。事業系ごみについても抑制・減量化・資源化を促進します。また、家庭用太陽光発電導入や緑化推進など、省エネルギーや再生可能エネルギーの利用を促進します



基本施策	みんなでめざそう！成果指標	現状値	平成31年度	平成36年度
自然環境	市内の主要な河川・谷で行う水質検査のうち、環境基準を満たしている箇所の割合	40%	44.4%	49%
	不法投棄処理件数	65件	62件	59件
環境衛生	1人当たりの年間家庭ごみ排出量（資源ごみ・集団回収分を除く）	152kg	146kg	144kg
	年間最終処分量	1,066t	788t	758t
循環型社会	ごみ総排出量	11,415t	10,789t	10,483t
	リサイクル率の向上	16.4%	27.8%	28.3%
	太陽光発電システム設置件数	385件	697件	838件

★日々の快適生活を支えるまちの基盤を整えます

- 道路・橋梁** 計画的で経済的な市道の修繕を行ないます
- 住宅・宅地** 市営住宅を改修して、長寿命化を図ります
- 都市計画・景観** 景観に配慮した建築物に関する啓発活動を行います。建物の耐震診断を推進します
- 上水道** 上下水道料金基準の統一を検討します。計画的な修繕により漏水による無駄を抑えます
- 下水道** 下水道のつながり込み普及活動を行います
- 公共交通** 公共交通の空白地帯の解消につとめます
- 情報通信** 下呂ネットサービスへの加入促進を図ります。公共の場における無線LAN（Wi-Fi）環境の整備・充実を図ります

基盤整備
いしずえ

6



基本施策	みんなでめざそう！成果指標	現状値	平成31年度	平成36年度
道路・橋梁	長寿命化（補修工事）の済んだ橋梁の数	7橋	25橋	40橋
住宅・宅地	耐震性が確保できない老朽化した市営住宅の戸数	44戸	32戸	22戸
	市営住宅の給排水衛生設備改修戸数	—	98戸	150戸
都市計画 ・景観	景観促進地区の指定数	2カ所	3カ所	5カ所
	特定建築物耐震化率	63%	90%	95%
上水道	有収率（漏水による浄水効率の無駄を抑えます）	74%	77%	80%
下水道	下水道普及率	78%	82%	85%
公共交通	コミュニティバス・デマンドバスの利用者満足度	58.3%	60%	70%
情報通信	下呂ネットサービスの加入率	67.2%	70%	73%

★まちの賑わいと活力を生む産業を盛り上げます

- 農水産業** 集落ごとに住民協働による優良農地の確保や有効利用が行える体制を支援します
- 林業** 地域や森林組合等と連携し、整備体制強化と森林の適切な管理を行ないます
- 観光** 市内の観光資源を活かした滞在型観光地づくりを目指します。また、広域連携による誘客をはかります
- 商工業** 融資制度等を活用し、安定した経営が維持できる体制を支援します
- 雇用・企業支援** 雇用促進を図り、補助金等企業支援の情報を収集し提供します
- 高地トレーニング** エリアの特性をアピールし、市内外の利用者を増やします

産業経済
にぎわい

7



基本施策	みんなでめざそう！成果指標	現状値	平成31年度	平成36年度
農水産業	将来にわたり持続的に営農可能な担い手への農地集積率	34%	36%	40%
	飼料自給率	38%	43%	48%
林業	除間伐の面積（人工林・針葉樹）	790ha	1,200ha	1,500ha
	間伐材搬出材積（人工林・針葉樹）	22,712m ³	27,000m ³	32,000m ³
観光	市内観光客宿泊者数	113.4万人	130万人	150万人
	市内観光施設等入込客数	273.6万人	290万人	300万人
商工業	業況判断指数（DI値）	△23.7	0	10
	年間商品販売額	48,684 百万円	51,118 百万円	53,673 百万円
雇用・企業	年間就職率	68.1%	80%	85%
	製造品出荷額	6,521,555 万円	6,651,986 万円	6,785,025 万円
高トレ	飛騨御嶽パノラマグラウンド利用者数	5,066人	6,000人	7,500人

下呂市 第二次総合計画 2015 → 2024



下呂市第二次総合計画 [概要版]

発 行／下呂市
編 集／下呂市 経営管理部 総合政策課
発行年月日／平成 27年 3月

〒509-2295 下呂市森 960番地
TEL: 0576-24-2222
FAX: 0576-25-3250
URL: <http://www.city.geio.lg.jp/>